

コード No. 28039

**Anti-Human
Rictor (R1291) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : Rictor (rapamycin-insensitive companion of mTOR/ mAV03)は mTOR 結合タンパク質として同定された約 200 kDa のタンパク質です。mLST8、Sin1 とともに mTORC2 (mTOR complex 2)と呼ばれる複合体を構成し、mTORC1 複合体における Raptor と対比される因子です。生物種を超えて比較的保存されたドメイン構造を持っています。これらは mTORC2 複合体の形成や基質タンパク質との結合に必要であると推測されていますが、その機能の詳細は明らかにされていません。Rictor を含む mTORC2 の作用としては、低分子量 GTP 結合タンパク質である Rho ファミリーおよび PKC α を介したアクチン細胞骨格構築の制御、PKB/Akt のカルボキシル末端に存在する疎水性モチーフ部位のリン酸化が報告されています。

免疫抗原 : Human Rictor の部分合成ペプチド (GSSHTLPRRAQSLKA)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1% BSA、0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 1~3 µg/mL にて使用可能

: 免疫沈降法 1~3 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Oshiro N, Takahashi R, Yoshino K, Tanimura K, Nakashima A, Eguchi S, Miyamoto T, Hara K, Takehana K, Avruch J, Kikkawa U, Yonezawa K. The proline-rich Akt substrate of 40 kDa (PRAS40) is a physiological substrate of mammalian target of rapamycin complex 1. J Biol Chem. 2007 Jul 13;282(28):20329-39.